



KANAIWA ONO
ART PROJECT

金石スタジオ 通信

8

金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)。その活動の拠点となっている金石スタジオ(金石松前町1番16号)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

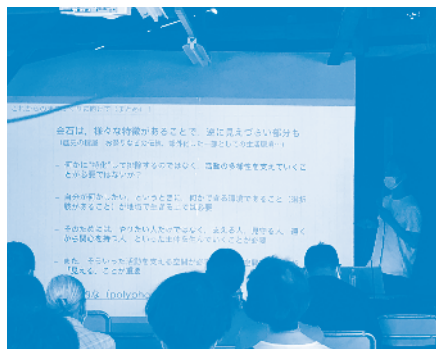
AIR
アーティスト・
イン・レジデンス

東京理科大学 伊藤香織研究室

6月〜8月滞在予定
第2回ディスカッション

【実施レポート】

五月二十九日(日)にトーク&ディスカッション「データから見る『金石らしさ』とこれからの可能性」を行いました。前半は東京理科大学 理工学部建築学科伊藤研究室の高柳先生より、人口や空間など数字や理論を元にした都市計画の視点から金石のまちのこれらについて、情報提供をいただきました。人口の推移は地域の方々にも目の前の課題として想像のしやすい話題だったようで、うなずきながらお話を聞く方もいらっしました。先生からは活動の種類の幅を持たせること、歩いて十五分のエリアに様々な



活動が見えるようにしていくことを提案されました。歴史や街並み、お祭りなどの文化など大切にしたいものを考え、ていくためにも、推計システムや交通、空間分析など客観的なデータを参考にすると、これまでの地域活動とは違う視点を持つことができそうです。先生のお話は自治区ラジオにて公開予定ですので、ぜひお聞きください。後半はこれまでの活動でつながった地域の方々六名が「これからの金石の展望」を発表し、聞き合う時間を設け

ました。この通信でも紹介している「金石手芸部」や「だがし屋」は地域の様々な人や場所とつながって継続し、次の展開も考えていきたいとお話しされました。金石スタジオや横にある畑を、これからも交流の場にしていきたいと思いを発表してくれた方も。まちで活動している地域団体をつなぎ、話しあう場をつくらせていきたいという話題や、町家を改装して人々が集う拠点を作っていくという話題も出てきました。面白いことを起こしていきたい、地域にも還元していきたいという気持ちと同じでも、「同じ関心のある人たちが集まる活動」「場所づくり」「人の繋がりが違う方たちがアイディアを共有し、顔の見える関係ができることで今後の連携や協力の可能性が生まれたのではないのでしょうか。今回は引き続き、アイディ



アを共有しながら、まちへ出て「空間の見方」を実践していく予定です。(森 絵里花、金沢21世紀美術館 プログラム・コーディネーター)

【ゲストコメント】 高柳誠也(東京理科大学)

今回は、金石に関する統計データや空間的な分析からみた金石の特徴と、金石の少し先の未来に向けてのまちの捉え方について、私の金石に対する印象も含めて紹介しました。

金石が持つ多様な側面を活かしつつも、「人」と「空間」の双方の特性をより活かしていくために、住民のみなさんの活動が「見える」形にすること、それを「見かける」ようにすることが重要です。また、空間の見方として「三分」と「十五分」という時間を考えてみることを提示しまし

た。車社会でまちなかで動くことが少ない中、身近な金石のまちなかでは徒歩や自転車での「三分」の範囲で人びとの活動が連続していくこと、そして歩いて「十五分」の範囲でそれぞれの居場所に訪れることができるようにしていくことが、空間と人の特性を活かしたまちづくりにつながっていくと考えています。

★第3回ディスカッション

「まちの中で活動を展開させていくために」

8月28日@13時〜15時

場所：金石スタジオ

参加費：無料

定員：25名程度(当日受付)

【ゲストコメント】

高柳誠也(東京理科大学)

第三回のディスカッションシリーズでは、「まちの中で活動を展開させていくために」と題して、実際に金石のまちの中で今後も継続的に行われる活動や、これから「あったらいいな」と思われるような活動を、金石のまちの中でどのように展開させるとよい



か、について皆さんとともに考えたいと思います。

前は、様々な活動に取組む（取組みたい）皆さんのこれからの展望について発表があり、まちの中で今後多様な活動が精力的に行われていく将来像が見えてきました。その中で、それぞれの活動がよりまちの中に「見える」と、そして「見関係のない人々が「見かけれる」ことが、まちの活性化につながっていくと考えています。

今回は、そのようなまちへの展開の仕方について、他の事例やまちづくりで応用されている考え方を話題提供したうえで、実際にまちあるきをしながらかのように見える「とよいのか」などを実感する機会を設け、意見交換したいと考えています。

雨や雪の日が多いこともあり、活動が屋内に閉じ、まちの中から活動を「のぞき見」できる機会が少ないように感じます。様々な活動について、チラシや口コミだけでなく、まちの中で「何やってるんだらう?」「なんか楽しそう」といった気づきもあってあるべきだと思っています。また、「今日は○○の活動をやっているみたいね」と住民間で話題になることも重要だと思っています。

また、金石外や観光客からみると、歴史的なまちなみのみならず、路地空間や蔵の立ち方など、様々な要素が金石の魅力を伝えています。そこに、住民の方々が豊かに時間を過ごしていると想像できる様子に出会うことがあれば、この地域の魅力をさらに感じることができるようではないでしょうか。実際にまちを歩き、活動が「見える」体験をしながら、地域の活動の展開について意見交換をしていきたいと思っています。

実際にまちを歩きいろいろな体験してみたい方や、今後のまちづくりに興味のある方の積極的なご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、予定を変更する場合があります。詳細は美術館ホームページをご覧ください。

PP パブリック・プログラム

かないわ ピクニッククラブ



先日行われた東京理科大学ディスカッショントークに合わせて、伊藤先生から直接ピクニックについて話をうかがうことができました。ピクニックは一八〇二年にイギリスで生まれ、飲食物・話題・音楽などの芸を持ち寄るなど、都市民の社交場であり娯楽でもあったこと、一九八九年に開催されたピクニックはベルリンの壁崩壊の遠因となったなど、ピクニックの歴史と奥深さを目の当たりにすることになりました。また、当日持参してくださいましたアン

ティークのピクニックセットは、紅茶が外で飲めるようにカップやソーサーがついており、品の中にも可愛らしさを感じる逸品に参加者も興味津々でした。

実践に向けて、金石大野エリアのピクニックスポットについて話すと、金石・大野やすらぎの林、大野お台場公園、石川県銭屋五兵衛記念館、宮腰緑地、いこいの広場など、候補地がどんどん出てきます。金石・大野やすらぎの林は、遊歩道を歩ききったことがないというのも話題になりました。ピクニッククラブの活動時に遊歩道ウォーキングも盛り込もうと思います！

かないわピクニッククラブではどのような出会いや発見があるでしょうか。この夏はまちのあちこちでピクニックしているの、見かけたら一休みしにきてください。(河合紗那、金沢21世紀美術館地域コーディネーター)

★予告かないわピクニック
クラブ in 金沢21世紀美術館

9月18日(土) 11時~15時
場所：金石スタジオ

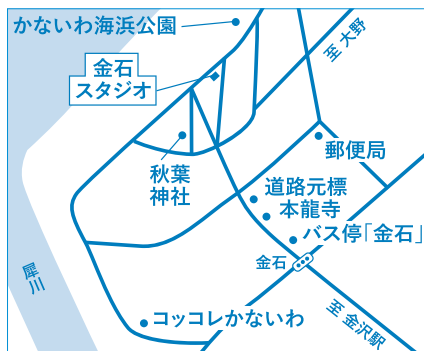
参加費：無料

定員：25名程度(事前申込)
申込締め切り：9月10日(土)

申込先：メール(jichiku.com@gmail.com) もしくはスタッフへの声かけ

金石く金沢21世紀美術館へピクニックを計画しています。当日は金石バスターミナルからアートバスを運行する予定です。いつもと一味違ったピクニックいかがでしょうか、皆さんのご参加お待ちしております。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、予定を変更する場合があります。詳細は美術館ホームページへ。



金石スタジオ 情報発信中

自治区ラジオ DICHIKU RADIO
自治区が配信する WEBラジオ

Instagram

facebook